

2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名	株式会社 アイ・オー・データ機器	上場取引所	東
コード番号	6916	URL	http://www.iodata.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)濱田 尚則	
問合せ先責任者	(役職名)社長室 室長	(氏名)真田 秀樹	(TEL)076(260)3377
四半期報告書提出予定日	2019年11月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	14,102	5.7	561	△9.9	777	19.1	537	21.8
2019年6月期第1四半期	13,346	10.4	622	30.2	652	33.2	441	42.1

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 587百万円 (△3.9%) 2019年6月期第1四半期 611百万円 (38.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	40.63	—
2019年6月期第1四半期	32.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	39,429	26,733	67.4
2019年6月期	40,333	26,554	65.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 26,578百万円 2019年6月期 26,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	5.9	1,150	△12.6	1,150	△12.7	800	60.46
通期	62,000	4.7	2,450	9.9	2,450	12.8	1,700	128.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期1Q	14,839,349株	2019年6月期	14,839,349株
2020年6月期1Q	1,607,511株	2019年6月期	1,607,379株
2020年6月期1Q	13,231,883株	2019年6月期1Q	13,631,972株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続き、個人消費も堅調に推移しましたが、海外経済の減速により輸出や設備投資は伸び悩み、先行き不透明感は高まりました。

当社グループに関係するPCや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場では、働き方改革の推進やPCの更新需要等から上向く企業のIT投資が牽引し堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、商品・サービスの拡充により伸張する法人需要の獲得に努めるとともに、「東京ゲームショウ 2019」出展や「全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2019 IBARAKI」への協力を通じたeスポーツ関連分野の販促等、新たな成長機会の獲得に励みました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は141億2百万円（前年同期比5.7%増）となりました。利益面については、増収に伴い売上総利益は27億80百万円（前年同期比3.8%増）となりましたが、販売費及び一般管理費は22億19百万円（前年同期比8.0%増）と市場開拓に係る研究開発費や広告宣伝費、減価償却費を中心に増加したため、営業利益は5億61百万円（前年同期比9.9%減）となりました。以下、営業外収益を為替差益1億83百万円を計上したことにより、経常利益は7億77百万円（前年同期比19.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億37百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の営業の概況を品目別に説明いたします。

なお、当第1四半期連結累計期間は、前第1四半期連結累計期間ではストレージに含めておりましたSSD(ソリッドステートドライブ)をメモリへ組み替えて表示しております。そのため、前年同期比較は、前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。

[メモリ]

前期下期にラインナップを始めたポータブルSSDの販売好調により、売上高は9億26百万円（前年同期比63.8%増）となりました。

[ストレージ]

当部門の売上高は24億96百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

前年同期との比較において、ハードディスクは前期下期に生じたシェアの低下が響き減収となりました。一方、光ディスクドライブは販売が伸び増収となりました。

[液晶]

当部門の売上高は45億76百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

前年同期との比較において、オフィスや学校向けに汎用モデルや大型モニターの販売が好調に推移した他、eスポーツモデルの販売が伸びました。

[周辺機器]

当部門の売上高は19億89百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

前年同期との比較において、地デジチューナーやビデオキャプチャー等の映像分野は増収となりましたが、無線LANやNAS等のネットワーク分野は減収となりました。

[特注製品]

上述の品目のカスタマイズ販売やOEM販売を主とする当部門の売上高は1億77百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

[商品およびその他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門の売上高は39億36百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9億3百万円減少し、394億29百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が6億98百万円増加したものの、現金及び預金が16億32百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて10億81百万円減少し、126億96百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億86百万円、決済資金としての短期借入金が5億円、未払法人税等が2億26百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億78百万円増加し、267億33百万円となりました。これは、剰余金の配当により利益剰余金が3億96百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益5億37百万円の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2019年8月8日付「2019年6月期決算短信」にて公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,502	5,869
受取手形及び売掛金	11,236	11,934
商品及び製品	8,690	8,719
原材料及び貯蔵品	2,055	2,068
その他	651	622
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,134	29,213
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
建設仮勘定	364	364
その他(純額)	2,858	2,908
有形固定資産合計	6,103	6,153
無形固定資産		
1,254	1,254	1,224
投資その他の資産		
その他	2,857	2,853
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,841	2,837
固定資産合計	10,198	10,215
資産合計	40,333	39,429
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,871	6,585
短期借入金	1,000	500
1年内返済予定の長期借入金	375	375
未払法人税等	479	253
ポイント引当金	3	4
賞与引当金	—	250
その他	3,510	3,265
流動負債合計	12,240	11,234
固定負債		
長期借入金	1,031	937
役員退職慰労引当金	83	83
リサイクル費用引当金	308	316
製品保証引当金	40	41
その他	73	83
固定負債合計	1,538	1,462
負債合計	13,778	12,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	19,180	19,320
自己株式	△1,190	△1,190
株主資本合計	26,178	26,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	133
繰延ヘッジ損益	76	111
為替換算調整勘定	13	15
その他の包括利益累計額合計	217	259
非支配株主持分	158	154
純資産合計	26,554	26,733
負債純資産合計	40,333	39,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,346	14,102
売上原価	10,667	11,321
売上総利益	2,678	2,780
販売費及び一般管理費	2,055	2,219
営業利益	622	561
営業外収益		
受取利息	5	4
仕入割引	13	12
為替差益	33	183
持分法による投資利益	—	9
その他	19	42
営業外収益合計	71	252
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	35	27
持分法による投資損失	2	—
その他	3	8
営業外費用合計	41	36
経常利益	652	777
税金等調整前四半期純利益	652	777
法人税、住民税及び事業税	258	202
法人税等調整額	△45	29
法人税等合計	212	231
四半期純利益	440	545
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	441	537

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	440	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	5
繰延ヘッジ損益	121	34
為替換算調整勘定	34	1
持分法適用会社に対する持分相当額	7	0
その他の包括利益合計	171	42
四半期包括利益	611	587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	612	579
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したI-O DATA VIETNAM CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が27百万円増加し、流動負債の「その他」が19百万円及び固定負債の「その他」が8百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。